

# 2022 平和運動



## 連合

k esen

### No. 144

【2022. 8.3】

連合岩手気仙地域協議会  
大船渡市猪川町前田 9-17  
TEL 0192-27-8671  
FAX 0192-47-3471  
http://www.rengo-iwate.jp/  
発行責任者：梅木 博  
編集責任者：紺野千鶴子

連合  
**労働相談  
ホットライン**  
0120-154-052  
雇用の不安  
雇止め  
の不安は  
ありませんか？

戦後77年を迎え、戦争の記憶は遠くなりつつある中、県内の仲間と連携し、恒久平和の実現に向けた世論喚起、核兵器の廃絶を実現するため、気仙地区実行委員会(連合気仙、平環気仙地区センター、大船渡地区友愛会)を結成して気仙地区2022平和運動を展開した。

平和キャラバンは、連合車両と県連合車を使って流し隊として、気仙一円を回り、世界の恒久平和の実現と被爆者支援の強化、在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本改定など、「二度と戦争を起こさない、二度と戦争にならないように、二度と戦場に子どもたちを送らないように」と平和の尊さを訴えた。

18時からは、3団体や連合気仙加盟企業・団体の労組組合員ら、約40名が横断幕のぼり旗を掲げ、気仙地区平和集会に集まった。

はじめに、長崎の鐘の音に合わせて黙祷を捧げた後、主催者を代表して梅木実行委員長より挨拶を受けた。実行委員長は、ロシアによるウクライナ侵攻などに触れ、「武力による軍事侵攻は断じて許すわけにはいかない。武力による解決は何も生み出していない。安全で安心できる街、国、争いのない世界を目指して声を上げていこう」と呼び掛けた。

来賓には、県実行委員会より、飛田洋一様にお越し頂き、ご挨拶を受けた。その後事務局が綴った千羽鶴を、伝達した。

スローガン・課題、アピールを確認し、実行委員長が発声で「核兵器のない平和な世界を目指し、3団体団結してガンバロー」を三唱し、佐藤副実行委員長の挨拶で閉会した。

「沖縄慰霊の日 平和の詩」より

「こわいをして、へいわがわかった」

沖縄市立山内小 2年 徳元穂菜

びじゅつかんへお出かけ  
おじいちゃんや  
おばあちゃんも  
いっしょに  
みんなで出かけ  
うれしいな



こわくてかなしい絵だった  
たくさんの方がしんでいた  
小さな赤ちゃんや、お母さん  
風ぐるまや  
チョウチョの絵もあったけど  
とてもかなしい絵だった  
おかあさんが、  
七十七年前のおきなわの絵だと言った  
ほんとうにあったことなのだ  
たくさんの方がしんでいた  
ガイコツもあった  
わたしとおなじ年の子どもが  
かなしそうに見ている  
こわいよ  
かなしいよ  
かわいそうだよ

せんそうのはんたいはなに？  
へいわ？  
へいわってなに？  
きゆうにこわくなって  
おかあさんにくっついた  
あたたかくてほっとした  
これがへいわなのかな

おねえちゃんとけんかした  
おかあさんは、二人の話を聞いてくれた  
そして仲なおり  
これがへいわなのかな

せんそうがこわいから  
へいわをつかみたい  
ずっとポケットにいれてもっておく  
ぜったいおとさないように  
なくさないように  
わすれないように  
こわいをして、へいわがわかった

## 2022年度最賃 キャンペーン



2022年の岩手県最低賃金改正に向けた、社会啓発キャンペーンは、7月19日～21日まで県内各地で行われた。今年度の連合気仙の取り組みとして、新聞折込みで気仙一円に11,000枚を配布した。また、19日に街宣カーによる、気仙一円の街宣活動を行った。

7月14日には、連合岩手佐々木会長が岩手労働局に最低賃金の引き上げを求める加盟労組1,016事業所の職場決議を提出した。

本年度の改定額は、中央最低賃金審議会が8月1日に目安としてDブロック(岩手県を含む地域)30円の目安が示された。今後、県の専門部会で議論され、10月1日の改定発効を予定している。

## 単組間パークゴルフ 交流会 開催

日時 8月20日(土)  
8時50分集合  
場所 三陸パークゴルフ場  
参加費 500円

練習9ホール  
個人戦 1ラウンド(18ホール)

### お知らせ

夏季休暇に伴う事務局の閉局日  
2022年8月15日(月)～8月19日(金)  
緊急連絡先  
紺野事務局長 090-5182-2281

7月3日、気温が30度を超える暑さとなった。6月下旬から25度超えの日が続く、各地でも急な気温の上昇に伴い、熱中症による救急搬送者が2010年度以降で過去最多を記録しました。マスクの着用等、新型コロナウイルス感染症の対策が続く中で、これまでとは異なる生活環境下であることが熱中症になる要因の一つであると考えます。

熱中症の対策として、水分・塩分のかまめな補給や作業環境に合った適度な休憩、十分な睡眠の確保、また野外で周囲の人の十分な距離(少なくとも2メートル以上)が確保できる場合には、マスク外す様、厚生労働省が呼び掛けています。

梅雨明けの時期には、それまでの曇雨天による比較的、冷涼な天候から、いきなり高温多湿な天候に変化し、多くの人が十分に暑さに慣れていない状況の為、体調を崩しやすい季節になります。今般、梅雨明けの時期に合わせて、暑さ指数(WBGT)や熱中症警戒アラートを行動の目安とし、有意義な夏を過ごす為に、体調管理には気を付けましょう。

ちなみに、私の対策は水分を補給して、早く寝ることです。(むくみ注意)

美・H

